

登校拒否・不登校問題

第25回全国のつどいin京都 実行委員会ニュース No. 4



第25回登校拒否・不登校問題全国のつどい 実行委員会事務局発行 2023年8月17日

【事務局連絡先】 メール kyoto.tsudoi.2023@gmail.com
携帯 080-4483-9224 (つどい専用)
〒607-8033 京都市山科区四ノ宮芝畑町1-9 林方
FAX 075-594-5841
ホームページ: <https://zenkokuren.jp/tsudoi>



8月6日(日)京都で第4回実行委員会を開きました

猛暑日が続き本当にしんどい夏。台風・大雨などによる被害も列島各地から報告されています。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

8月6日は、第4回の実行委員会に各地から62人もの方が参加されました。

この日は「ヒロシマ」の日でもあり、人間関係の「平和」について思いをめぐらしました。脅して人を動かすのではなく安心して自ら動くこと、決めつけて心を閉ざすのではなく「今・ここ」で目の前の人の思いを聴きとり、自分の思いを話し、対話の中で

わり合おうとすること。伝わり合えたいしさを共有する「全国のつどい」は、そんな場でありたいと思います。あと2ヶ月、力を合わせて「つどい」をつくっていきましょう。

🌸 実行委員長・春日井敏之さん(立命館大学大学院教授)のあいさつより

炎天下、外出するだけで命がけのような日に、そこを凌いでご参加いただき感謝申し上げます。

午前中は、学会のオンライン大会に参加していましたが、文部科学省による生徒指導提要に関する講演がありました。“させる指導”から“支える指導”への指導観の転換が強調されていました。つまり、主体は子どもであり、教職員は生徒を支える存在であるということです。また、生徒指導の実践上の視点として、次の4点も強調されていました。①自己存在感の感受、②共感的な人間関係の育成、③自己決定の場の提供、④安心安全な風土の醸成です。この4点が学校づくりや教育実践で定着していけば、いじめも不登校も激減することでしょう。

問題は、どうやってそのような学校づくりをするかです。実現のための教職員の意識変革、具体的な施策、予算措置等も課題です。これらは、教職員だけでなく、保護者や支援者にも共通の課題だと思えます。一緒に取り組んでいきましょう。

🌸 第3回実行委員会後の取り組みの報告 <事務局長より>

◇要項・チラシ配布状況 15,000枚のチラシを各地に届け、その後も5,000枚増し刷りをした

◇亀岡市行政の協力(南丹市・京丹波町も同様)

- ・市立小中学校24校にチラシを届けてくれた・広報誌に掲載
- ・子育て支援センター等にチラシを配架

◇亀岡市民・団体などの協力

- ・観光協会 かめおかマップ500枚準備
- ・社会福祉法人亀岡福祉会 送迎バス・交通案内の協力
- ・新日本婦人の会亀岡支部 会員さんからイラスト提供、受付要員・チラシの配布などの協力
- ・亀岡教職員組合 印刷場所協力

◇京都新聞社会福祉事業団の後援と助成金(30,000円)

◇日本教育公務員弘済会京都支部助成金(100,000円)

◇全国的団体への協賛を申請



自己紹介と ミニ文化行事 (落語)

今回の実行委員会は、後半分科会に分かれて話し合う時間を確保するため、自己紹介は「名前・どこから・希望する分科会」だけを話していただき、皆さんのご協力のもと短時間で終了し、分科会に分かれてから自己紹介の時間を取りました。ミニ文化行事として落語を聞かせてくれたのは高校3年生（舞鶴市）です。「親の顔」（立川志の輔作）という演目も私たちの会にぴったりで、はなしのツボごとに笑いが起こり、参加者の心も次第にほぐれていきました。

分科会づくりの話し合い

「分科会づくりにあたって世話人のみなさんへ」を全員で読み合わせました。

- ①つどいに参加されたみなさんに依頼して話し合いを進めてください
- ②参加者はすべて対等平等です。
- ③分科会等で、何かを決議するようなことはしていません。

上の3つをはじめとするこの文章は、つどいを積み重ねる中で、くり返し確認し合い、大切にしてきたもので、分科会の運営方法や役割などを確認しました。



分科会等世話人初顔合わせ

12の分科会・基礎講座・ひろば・速報・受付・書籍などに分かれての初顔合わせ。教文センターの3つの部屋に分かれ、分科会ごとに話し合いが始まりました。分科会連絡係の方々には、実行委員会の30分前に事前打ち合わせを行っていただき、この話し合いにのぞみました。

各分科会等で話し合われたことを報告し合いました

分科会に分かれて話し合いを行った後、再び一つの部屋に集まり、各分科会等から報告をしました。

小学生 自己紹介をする中で、小学校の実態や小さい子の実態が出てきた。今、状況が厳しくなっていると実感できた。分科会でもそういったことを出し合って、安心感がもてるように。ゆっくりしていいと思えるようにしたい。分散会は当日の参加人数を見て決めたい。親の立場で司会、教職員の協力を得られたら記録をお願いしたい。

中学生 最初に自己紹介をして名簿作り。そのあと、分担を決めた。人が足りないのので、それぞれスカウトをしようと話した。あとは、分科会に来られる方、不登校に悩んでいる人に話をしてもらって、親の会にもつないでいきたい。

高校生 2人での打ち合わせだった。京都のお母さんがいたら深められるかなと。20名以上になると分散会にしたい。なんでも話せるようにしたい。現在の高校の状況を参加者の中で出し合えたら。連絡係、京都の人が入れたらお願いしたい。

障がい 3人で自己紹介。来た方が安心して話ができるような会にしたい。自己紹介をしていただいた上で、当日しか参加できない方や緊急性の高い方を中心に話をすすめる予定。学齢期から大学生、青年も人数が増えてきているが、学齢期をメインにしたい。当日参加者が増えた場合、今の3人では対応が難しいので、亀岡のきょうされんや、前回の長崎で参加された方にも援助をお願いできたらと思う。

学校づくり 連絡係は京都の北部の人をお願いしたい。最初の話題提供を考えていて、心当たりの人にあたる。コロナ禍の前と後ではいろいろ変わってきているので、教師の立場や親の立場からいろんな話が出たらと思っている。

青年期 連絡係がないのと、もう少しスタッフがほしい。分科会は、みなさんの経験を話してもらった後に、世話人のNさんに、話をしてもらって、親の話ばかりにかたよらず、青年の話もしてもらおう。研究者が多い。もっと親の立場の参加を。一問一答にせず、全体で話したい。

進路自立 初めてばかりの3人で打ち合わせをした。今日2人に話を伺っただけでいろんな進路があると。ここが自立というのでなく、いくつになっても自立があり、進路がある。参加してくれた人、わが子をずっと見守り続けられるような分科会になれば。司会とかは決められていない。

居場所A ABとも少なかったのので、今日は一緒に話をした。最初の日にはAB一緒にして、そのあと分散することも検討したが、Bの方が多そうなので、最初から分散予定。安心して出し合えることを大切にしたい。沢山しゃべりたくなることがあると思うが、うまくみんなの話にしていきたい。

居場所B 名簿には5人あがっているのので、連絡先を教えてください。連絡係、京都の人をお願いしたい。1日目は自己紹介中心で、2日目は事例報告（京都に依頼）も入れて、そのあと交流を深めたい。

親・家族 5人集まって話。自己紹介をしながら、家庭の話や今悩んでいることを共有した。家庭・親って大事となった。それぞれ価値観も子ども対応も違う中で、親はどうすればいいかを話し合いたい。司会等決めた。当日は遠方からの参加もあるので、じっくりゆっくり聞こうと話合った。

手をつなぐ輪 1人、相談のしようがなかった。次回京都の連絡係の方が来られるようなのでそこから始めたい。

医療 次回、連絡係が用事で来られないので、第2・第3の連絡係を決めた。司会記録とも決まった。自己紹介を

するなかで、一人ひとり重たいエピソードがでてくるが、とにかくひたすら聴くということを大事に。専門家、助言という扱いはせず。地元でドクターの参加があれば。

非行 2人の方が初めて参加。事務局が入って、今までのことを説明した。次回、従来からの世話人が来られたら、そこからスタート。2人で司会記録を決めてもらった。世話人もう少し増えたらいいなど。来られた方の話を丁寧に聞いて、発言しやすい雰囲気をつくっていききたいと話した。

基礎講座1 今日は1人だったので何も決められず。「あんだんて」の方が4人、当日きてくださるので、次回までに「あんだんて」の方に話をして分担等きめられたら。（事務局が責任を持って「あんだんて」の方との繋ぎをします）

基礎講座2 今日はひとり（春日井）。講演準備進めていきます。

ひろば 3人で打ち合わせ スタッフ増やしたい。次回内容の詳細を話し合いたい。

速報 分科会とちがって事務局の一部、今日は京都のKさんと2人で自己紹介をして交流した。

各分科会でその都度感想を書いてもらう。分科会世話人に見てもらった後、速報に持ってきてもらう。速報も交流の大事な役割を担っている。速報を通して、つどいの全体像をつかむ。カットの描ける方、いればお声かけを。

書籍 今回書籍に関わってくれる「かもがわ出版」さんは、全国連の昔からの会員です。業者さんが入るといふより、ご自身も一参加者で、今回も楽しみにしているとのこと。委託販売を希望する方は期限までに連絡を（詳細は同封の案内をご覧ください）。

受付 ガレリアの場所がかなり広いので、どういう風に机の配置をしたらいいかイメージがつかみづらい、悩みながら来た人を暖かく迎えること、参加証を忘れた人や、まだ届いていない人にどう対応するか、そのあたりを話し合った。私も初めてで、不都合なことがあるかと思うが、そういったことも話し合っていて決めていきたい。

事務局・分科会担当から … 分科会打ち合わせの初回から、しっかり話し合いができたのはうれしい限り。けれどもまだまだ世話人さんが必要。分科会世話人・分科会連絡係、当日の受付や交通案内係等々、もう一回り声をかけて広げてください。一緒に「つどいづくり」をしてくれる人を増やしましょう。世話人さんがひとりでも増えたら、事務局・分科会担当に連絡してください。



参加者の感想



（たくさんの感想を頂きました。一部を掲載いたします）

◎「親が子どもの気持ちをどう受け止めるか、どう感じるか、このことが大切だよね」というお話がでて、小1の息子をもつ母としてはとてもほっこりした気持ちになった。自分に何が出来るか、どんな役に立てるか分かりませんが、当日がものすごく楽しみになりました。そういう分科会相談の時間にしてくださり、ありがとうございました。

（大阪・家族）

◎暑い中でしたが、スムーズに進行してよかったです。準備などお疲れさまでした。

“つどい”はじっくりひとり一人が話し、安心できる分科会にしようという目標がしっかり確認できて、ホッとしました。やっぱり、分科会が“つどい”の中心なのだとうれしくなりました。

まだ参加者が確定していない状況なので、次回9月の実行委員会で進むだろうと思えました。久しぶりにお会いできた人もおられ、これが“つどい”なのだなと実感しました。

（東京・支援者）

◎ “つどい”に参加させていただいて、初めて若い人と会えた気がする。うれしい。「ひろば」では立場の違いを楽しめました。当事者の私と兄弟に当事者がいるお二人。よかった。

（京都・当事者）

◎居場所分科会についての討議に参加しました。この分科会に参加することにしてから、いろいろと過去の議論などにも目を通しながら、考えてみました。結局、「居場所というのは卵のようなもので、その子の成長に必要な十分な環境（栄養）だ」と思うようになりました。

家庭、学校、地域を串刺しにした登校拒否・不登校問題の核心ではないかということです。息子の場合は、小学校3年生のとき、

「入るな、あけるな」と自室のドアに貼り紙をした時から、自分の居場所確保の行動を始めたのだと思います。その後、ネットゲーム、図書館や寄席、余市の高校など、我が子の居場所は変化していきます。居場所発見、居場所確保の成長史として語り合いたいと思います。

（京都・家族）



第5回実行委員会のご案内

と き 2023年9月10日(日) 午後1:00~5:00

ところ **ガレリアかめおか2階大広間**

(京都府亀岡市の生涯学習施設・道の駅)

〒621-0806 京都府亀岡市余部町宝久保1-1 ☎0771-29-2700

会場下見を兼ねて
ガレリアかめおか
でおこないます。

(コンベンションホール
など見学予定です)

第5回実行委員会で話し合うこと

- ・つどい2日間の流れについて
- ・役割分担・参加申し込み状況
- ・分科会打ち合わせ(2回目)
- ・亀岡駅から会場への送迎について など

*本番間近です。本番までに何ができるか、何が必要か。みなさん、お力をお貸しください。



参加申し込みはもうすまされましたか？

申し込み〆切は8月31日(木)、入金締切は9月11日(月)です。

弁当を注文する方は、必ず8月31日までに参加申し込みをしてください。

10月8日の弁当は参加費の入金時に1,000円プラスで振り込んでください。



申し込み用
QRコード

ガレリアかめおか (京都府亀岡市の生涯学習施設・道の駅)

・JR京都駅から亀岡駅まで、嵯峨野線(山陰本線)普通列車で約30分、快速列車で約20分。乗り継ぎなし(亀岡行きまたは園部行き)。特急列車も停車しますが、特急料金が別途必要です

・JR亀岡駅(南口)から京阪京都交通バスで約7分(3・34・40・59系統)、「ガレリアかめおか」下車
※バス時刻 亀岡駅南口発 ③4 11:50、③4 12:50、④0 13:26

・JR亀岡駅(南口)から(亀岡地区)コミュニティバス(西コース)で約10分、「ガレリアかめおか」下車
※バス時刻 亀岡駅南口発 西右コース11:19、西左コース11:53、13:29

(ガレリアまで行くバスだけでなく市役所行きもご利用ください。市役所前までバスに乗ると徒歩10分で着きます)
※バス時刻 亀岡駅南口発 60系統12:35(京都先端大「亀岡キャンパス」行)亀岡市役所前下車

・JR亀岡駅(南口)から徒歩約20分

・自動車で京都縦貫道「亀岡」ICより約5分 無料駐車場有

京都の猛暑は、お盆(五山の送り火)を過ぎても一向に衰えを見せません。会場のガレリアかめおかは、自動販売機が少ないため、飲み物を十分用意していただきますようお願いいたします。

かめおかのNさんのイラストです

